

地質ニュース

第483号 1994年11月

口 絵

マルチニーク島のプレー火山 ……………Hervé TRAINEAU・Georges BOUDON
Jean-Louis BOURDIER

カナダ北極圏諸島の第三紀化石林

……………小嶋 智・末田 達彦・J. F. BASINGER

北海道北東部の中新世火山活動とテクトニクス

—なぜ火山活動は南下したか?—……………渡辺 寧・6

マルチニーク島のプレー火山—その発達史と活動史—

……………Hervé TRAINEAU・Georges BOUDON

Jean-Louis BOURDIER (訳: 火山地質課)・15

東アジア地質構造図について……………佐藤 正・26

大陸棚の調査の歴史と現状

—水路部の大陸棚調査を通して—……………桂 忠彦・34

鉱物資源部にある未公表鉱床資料のオープンファイル化大作戦……………吉井 守正・47

地球環境問題への視点私案……………石井 武政・57

地質標本館だより……………利光 誠一・佐藤 喜男・坂野 靖行・小沢 泰子・63

新刊紹介「海の自然史」……………徳橋 秀一・67

学会掲示板……………69

編集後記……………石井 武政・70

第6回地質調査所研究講演会「火山、恵みと災害」のアンケートから……………46

表 紙

パプアニューギニアの Wau 金鉱山: パプアニューギニアには、新生代の熱水性金鉱床が多数分布し、近年の活発な探査・開発により産金量が急増した。1991年の生産量は60.8トンで、世界第8位の産金国となった(日本は8.3トン)。写真の Wau 鉱床は、首都ポートモレスビーの北約240 km、標高1,000-1,500 mの山地にある。鮮新世の安山岩-デイサイト質火山活動に伴う浅熱水性鉱床で、規模は Ok Tedi, Lihir あるいは Porgera といった300-400トンクラスの巨大鉱床とは比ぶべくもないが、熱水性爆裂角礫に伴う金鉱床の一例として興味深い。1990年7月撮影。

(写真: 農林水産省森林総合研究所 岡田直紀;
文: 地質ニュース編集委員会 佐藤興平)

通商産業省 工業技術院 地質調査所

〒305 茨城県つくば市東1-1-3

Tel. 0298-54-3520, Fax. 0298-54-3533

Geological Survey of Japan